

〔議会報告会：意見交換会〕

分科会：産業建設委員会

テーマ「岡谷市の産業振興について」

No.	質問事項	回答
1	国では、産業振興支援に関わる様々な補助金や税の優遇制度があるが、利用するには申請書類が多く審査が大変である。また、身近で頼れる市として、市に補助金がないと商工業者が育たないものであり、設備資金の制度があれば商工業者は助かる。そういった補助制度が岡谷市にないのか。また、制度の周知はされているのか。	<ul style="list-style-type: none">岡谷市は、他市町村に比べ商工業者に対する補助金等は充実している方です。岡谷市で発行している「平成28年度岡谷市商工業のしおり」には、補助金のメニューが掲載されており、岡谷市の産業振興課は商工業者の様々な要望に応えることができる職員体制をとっているため、是非テクノプラザ岡谷で気軽に相談していただきたい。制度の周知は行っていますが、もう少しPRするように担当部署に伝えます。市に確認したところ、国の補助制度の申請については、市では随時相談対応しており、提出書類の書き方などについても、相談の中で支援している。現在、岡谷市では設備資金に対する補助は実施していないが、岡谷市制度資金において、応援しており、長野県保証協会への保証料の補助や利子補給などの支援をしているとのこと。
2	地元に残ってくれる、技術のある会社が増えればよいと思う。やる気のある会社を市でもバックアップし、探し出してもらえるようにお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none">既存企業が岡谷市で経営していけるようにきめ細かな対応をしなければいけない。企業が流出しないように、市職員は情報を早くキャッチして市としてできることは何か前向きに対応しています。市に確認したところ、市内企業の事業拡大や工場移転による市外への流出防止のため、工業系用途地域の未利用地や空工場などの把握に努めると共に、企業訪問や、金融機関などを通じて市内企業の今後の事業計画に対しての情報収集を行い必要な支援を行っており、市内で、土地を取得して工場の新設や増設をする場合には、一定の要件を満たして頂ければ、土地の取得額の3割を補助する制度や、新・増築した建物に対する固定資産税相当額を3年間補助する制度にて応援しています。また、企業が新技術や新製品を開発する場合には「新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業補助金」において支援をしており、従業員10名以下の企業がチャレンジできる開発試作枠も設けて支援しているとのこと。
3	レイクウォーク岡谷がオープンするが、既存の商業者は非常に心配である。	<ul style="list-style-type: none">既存商店で類似商品を販売している場合、経営は相当厳しいという意識はあるようであるが、一緒に岡谷市全体の商業を盛り立てていくことを目的に、岡谷TMOを中心に、市内の商業会や市観光協会、レイクウォーク岡谷、岡谷商工会議所、岡谷市も参加し「レイクウォーク岡谷周辺地区活性化懇談会」を設置し定期的に協議しており、既存商店に与える影響は市でも最小限に抑えて、レイクウォーク岡谷とのコラボレーションなど、一緒に発展していけるような方向性を出しています。

No.	質問事項	回答
4	諏訪には温泉街や諏訪大社などあるが、道の駅やインターチェンジを活用して誘客につなげるなどの働きかけが熱心でなく、観光というよりも、お客をそこに引き止めておく、誘客するという努力がされていないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅は市議会でも一般質問された経過があり、道の駅の整備については、なかなか難しいとありますが、商業の活性化となるような道作りやバスが停まれるような飲食できる施設ができればよいのではないかとこの話を議会でも取り上げています。
5	ロケットの打ち上げは技術者の育成と聞いているが、どのような目的か、どのような技術が つぎ込まれているのかを知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> 分科会に参加していた関係者より、目的は、諏訪全体の若い企業の皆さんが集まり、精一杯、様々な研究をしながら、ロケットに限らずいろいろなもので話し合おうという中で出てきたことである。また、技術については、まだ発表するまでには至っていないとのことでした。また、市においても事業内容等を広報などで情報発信するよう話をしていきます。 市に確認したところ、小型ロケット打ち上げは、諏訪圏6市町村による SUWA ブランド創造事業として、テクノプラザおかやにある信州大学大学院諏訪圏サテライトキャンパスに協力を頂きながら、小型ロケットの開発を行う研究会を発足しその活動を通じて精密加工技術をより一層高めること、地域企業のほか、地域の大学生も巻き込んだ事業とし、諏訪地域への就業へもつなげることも目標として、新技術進出に対応できる技術者の育成と高付加価値製品・商品・新技術等の開発に繋げるものであり、具体的には、ロケットを教材として、これからの素材として注目されている CFRP/CFRTP (炭素繊維強化プラスチック) の筐体や切削技術の開発・金属と CFRTP の異種接合技術の開発通信技術や観察技術の向上、エンジン及び燃料開発などに取り組むものであるとのことでした。

《ご意見・要望》

○経営者の高齢化や後継者不足により、会社の減少や技術が途絶えてしまう。産業振興ということで対応をお願いしたい。

市に確認したところ、基幹産業である製造業を積極的に支援するため、岡谷市工業活性化計画（H26-30）を策定しており、経営者の高齢化が進んでいることから、事業承継支援は、重点施策と位置づけており、啓発、相談窓口の開設、企業訪問による現状把握、経営の安定化支援、後継者育成などに努めるなどの支援を行っているとのことでした。

○地元の方は気付かないが、市外の方から見ると岡谷市は風光明媚であり、写真撮影にはよいところで、そのような撮影スポットや、古いまちのたたずまいを地元の写真家や、市外の方に見てもらい地図に示してもらおうということができれば岡谷市のまちがいいねというPRになると思う。

○湊の通りは、立派な道路であるが、何も無いから通勤者しか通らない。諏訪の観光客を岡谷市に誘客できるようなことを考えないといけない。

参加いただいた皆様の貴重なご意見につきましては、今後の議会活動に活かしていきたいと考えております。